
事業者の取組みについて

2019年11月25日

電気通信事業者協会（TCA）

Agenda

1. 契約時のフィルタリング申込み・有効化措置等の促進

- ① 携帯電話事業者におけるフィルタリング利用に係る実データの把握・公表等
- ② 携帯電話事業者における販売代理店に対する指導等の徹底

2. フィルタリングを始めとするペアレンタルコントロールの必要性に係る認識の醸成

- ③ 利用者に対するインパクトのある周知啓発方法の検討の実施
- ④ 周知啓発の講座等の一層の推進

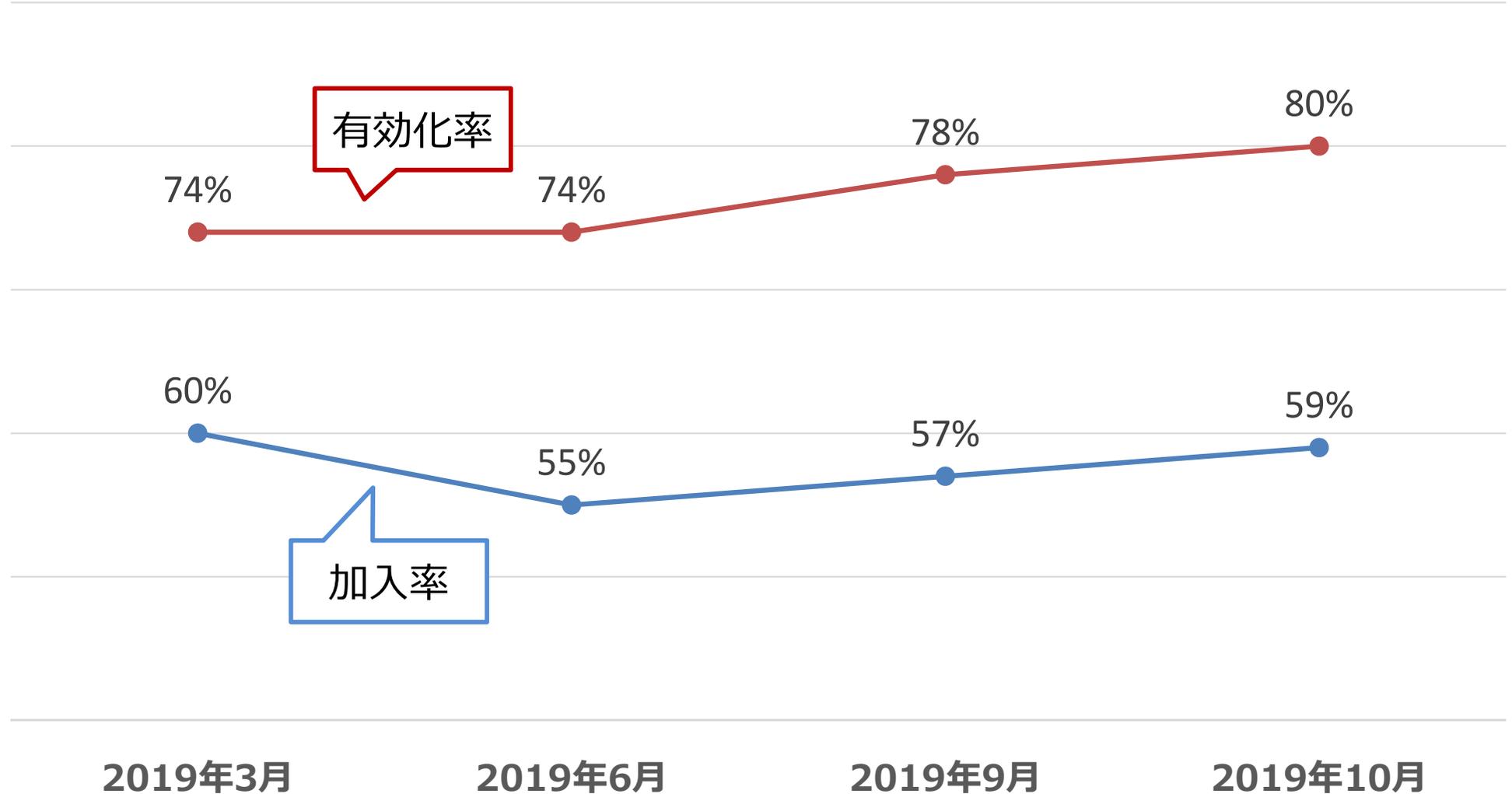
3. フィルタリングサービスの使いやすさの向上

- ⑤ 利用者が使いやすいサービスの周知・普及

①携帯電話事業者におけるフィルタリング利用に係る実データの把握・公表等

加入率、有効化率とも上昇傾向

(NTTドコモ・KDDI・SoftBank合計値)



(参考)

2018年2月～7月の平均値: 加入率47%、有効化率62.2%

2019年1月: 加入率52%、有効化率73.7%

①携帯電話事業者におけるフィルタリング利用に係る実データの把握・公表等

	2019.3	2019.06	2019.09	2019.10	
NTTドコモ	加入率	71%	67%	65%	64%
	有効化率	83%	81%	83%	85%
KDDI	加入率	49%	48%	51%	58%
	有効化率	66%	77%	81%	88%
SoftBank	加入率	49%	45%	51%	50%
	有効化率	59%	59%	68%	67%

②携帯電話事業者における販売代理店に対する指導等の徹底

NTTドコモ

- スタッフの説明が徹底されるよう、わかりやすいツールの改訂やシステム改善を実施
- 店舗別/エリア別の加入率、有効化率を会議等を通じて示し、取組を促進（継続中）

KDDI

- 分かりやすい説明ができるようお客さま・スタッフ向けツールの改訂
- 代理店、店頭スタッフへの意識付け促進
- エリア別・代理店別の加入状況の把握、会議等を通じ取組促進

SoftBank

- スマホアドバイザーの増員によるサポート体制の充実化
- フィルタリングの適切な説明に関する店舗調査を実施

(参考)各社の取組み(NTTドコモ)

ツールを利用した お客様説明・設定

- ◆ スタッフが説明しやすく、お客様がわかりやすいようにツールを改訂

(2019年10月～)
高校生プラス相当のフィルタリングの
選択肢の一つとして新たに
「iOSスクリーンタイム」を説明・設定



重要事項説明ツール
(ドコモからのご案内)



フィルタリング専用
パンフレット

システム改善

- ◆ 店頭スタッフ説明徹底のためシステム改善 (従前より実施)

メッセージ

利用者情報を確認してください
利用者の本人確認書類が必要です。

- ◆ お客様が設定を簡易にできるようにアプリの許可/制限設定を簡易化 (従前より実施)



代理店指導

- ◆ 代理店/エリア別の加入率、有効化率を会議等を通じて示し、取組を促進 (従前より実施していたが、10月に改めて徹底)



- ◆ 店舗運営支援費として設定 (従前より実施)



(参考) 各社の取組み (KDDI)

分かりやすい ご説明

- お客さま及び店頭スタッフ向けツールの改訂(9月～)
 - 「iOSスクリーンタイム」対応
 - 多言語化 (英語、中国語、ベトナム語、ポルトガル語)
- 説明から設定まで一冊で分かる冊子の刷新予定 (来春)



フィルタリング専用パンフレットの改版

スクリーンタイム設定マニュアルを配備

使いやすい フィルタリング

- あんしんフィルター(Android)にカスタマイズ機能を導入 (1月～)

よく使うアプリ一覧から許可/規制を選択
↓
簡単にカスタマイズが可能



- 保護者の方の関心が高い利用時間制限のご説明

1日の平均 2時間20分

日にち/アプリ別の利用時間がわかる

すべてのアクティビティを視認する

1日決まった時間分だけ利用を許可

たとえば ■1日3時間だけ、すべてのアプリを利用できるようにする
■アプリのカテゴリ別に利用時間を決める(ゲームは1時間など)

ポイント! 勉強などで利用するアプリは、「常に許可」に設定しておけば、利用制限中でも利用できます。

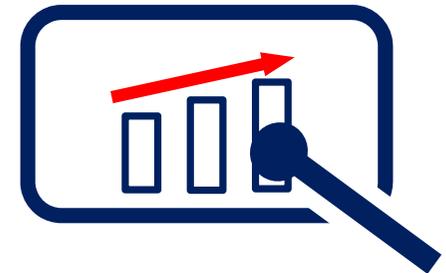
(店頭フィルタリングチラシより抜粋)

説明・設定の取組促進

- 代理店・店頭スタッフへの意識付け促進



- さらに、エリア別・店舗別の加入状況把握、会議等を通じ取組促進



(参考) 各社の取組み (SoftBank)

フィルタリング利用促進に向けた社内取組みを強化

店頭での対応徹底

(スマホ設定ガイドを刷新)

※12月予定



(スマホアドバイザーの増員)

※約500名(5月)→約1,200名(8月)



実態把握

(代理店ごとに数値管理)



(店頭での対応状況調査を実施)



定期報告・指導

(代理店ごとに指導)



(経営層への定期報告)



③ 利用者に対するインパクトのある周知啓発方法の検討の実施

人気アニメキャラクターを起用した動画でフィルタリングを訴求

- **フィルタリング訴求動画を店舗・Web等で放映予定**(12月下旬以降)
- **春の一斉行動の取組みとして出版業界と共同キャンペーンを実施**
海賊版サイト対策としても推進

④ 周知啓発の講座等の一層の推進

各社による各種啓発活動のほか、安心ネットづくり促進協議会、
e-ネットキャラバン、自治体等主催の各種活動に参加

マナーやトラブルの対処法をお伝えする**ケータイ教室**や**研修会**の開催等を実施しています。

2018年度 開催数 約12,300回 受講者数 約224万人



※ スマホ・ケータイ安全教室の様子 (NTTドコモ)



※ スマホ・ケータイ安全教室の様子 (KDDI)

(参考) 各社の周知啓発に関する取組み (NTTドコモ)

スマホ・ケータイ安全教室

スマートフォンや携帯電話の利用に関連した危険やトラブルを未然に防ぐために、普及啓発の取組みを各対象ごとに幅広く実施

開催回数

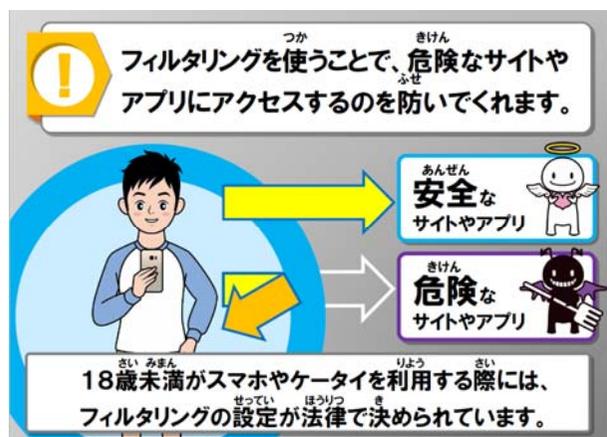
約7,600回

受講者数

約139万人

(2018年度)

講座名	対象	概要
入門編	小学校高学年～中学生	スマートフォンや携帯電話を安全に使うためのルールとマナー
応用編	中学生～高校生	SNSを中心としたトラブル事例の紹介やフィルタリングサービス
保護者・教員編	保護者、教員、PTA等	子どもが上手にスマートフォンを使うためのポイントやトラブル事例
シニア編	社会福祉協議会等	振り込め詐欺等の犯罪トラブル事例や自然災害時の機能



教材イメージ (青少年・保護者向け)



スマホ・ケータイ安全教室の様子

(参考) 各社の周知啓発に関する取組み (KDDI)

スマホ・ケータイ安全教室

KDDIグループでは、子どもたちが自らの判断でリスクを回避し、賢く使いこなす能力を身に付けていただくための講座を、社員講師が全国で開催。

開催回数 4,469回
受講者数 82.2万人
(2019年3月末時点)

コース名	初級コース	初中級コース	中級コース	上級コース	保護者向けコース	シニア向けコース
目安となる学年	小学校低学年	小学校中学年 ～ 高学年	小学校高学年 ～ 中学生	中学生 ～ 高校生	保護者 (教職員も可)	おおむね70歳代

■ 2019年度の新教材 (青少年向け)

学校現場などからのご要望

クローズアップされている社会課題



- ①ゲームや動画サイト、SNSなど**スマホ・ネットへの依存**
- ②文字コミュニケーショントラブルやSNSを使用したいじめ
- ③**投稿動画の映り込み**をきっかけとしたトラブル

子どもたちの年齢に即した「いま」のテーマを取り上げ、トラブル事例動画を見ながらポイントを解説



トラブルを防ぐポイント
 ・相手の気持ちを想像する
 ・流されずに考える

**思いやりの気持ちを
忘れずに**



依存を防ぐポイント
 自分の力・利用機器の
機能を上手に使う

ネットに支配されない

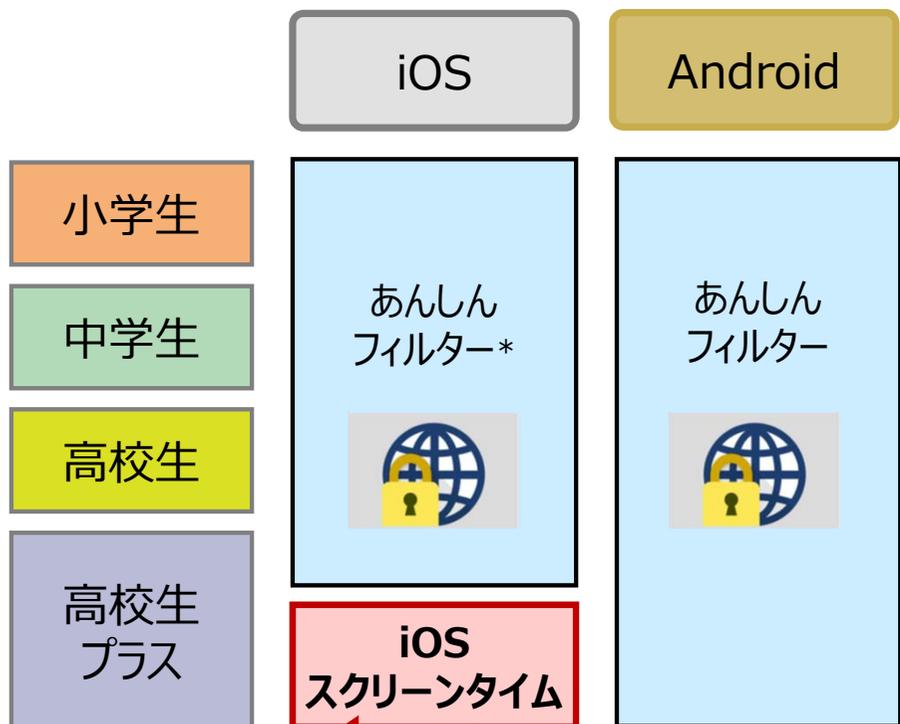
⑤ 利用者が使いやすいサービスの周知・普及

iOSスクリーンタイムの利用促進

iOSの利用者へ、高校生プラス相当のフィルタリングの選択肢の一つとして、新たに「iOSスクリーンタイム」を説明・設定

KDDI : 9月～ **docomo** : 10月～

SoftBank : 12月目途に運用開始



新たに
説明・設定

*iOSの仕様上、アプリ制限については
iOSスクリーンタイムを利用

(参考) 安心協検討議会取りまとめ (2018年11月)

■ 多様なツールの利用・認知

- 保護者の選択肢として、さまざまな機能に加え、学齢別に推奨されるフィルタリングレベルの設定や、ネイティブブラウザの利用に加えて利用時間制限・利用状況把握も可能なOSによるフィルタリングなども有効と考えられる
- OSによるフィルタリングについては、利用者の満足度の高さや今後の利用を希望する声、「知らない」の回答が少なくないことから、今後、広く周知し・提供することが重要

出典：青少年の安心・安全なインターネット利用環境整備に関するタスクフォース
(第6回) 安心協提出資料 (2019年2月)